

# 美しいまちなみ大賞

## 古川町歴史的景観地区

所在地 岐阜県古川町  
地区面積 約35.8ha  
応募者 都市景観審議会  
古川町

### <地区の概要>

当地区は、古川町の中心市街地に位置し、町屋を中心とした現在の街並みは、明治37年の大火以降、匠の技術により復興・形成されたものである。その後も、「相場くずし」を嫌い、伝統町屋を守る住民の強い意識と大工が技を競い合うことによって、建替えのたびに良くなり、現在の統一感のある良好な景観が形成・保全されている。

町民の提案を契機に、平成8年に「飛騨古川ふるさと条例」の制定、古川町歴史的景観地区の指定がなされ、同時に発足した都市景観審議会が、個別の建築行為に対して計画段階から助言や指導を行うなど、住民と行政が一体となって街並み景観の保全に取り組んでいる。また、町民に古川らしい街並み景観のあり方を具体的に例示・提案した「伝統的市街地における建築デザイン・ガイドライン」の発行等も行われている。



▲ 伝統的な町屋建築が建ち並ぶ壱之町地区。統一感のある良好な景観が形成されている。



▲ 白壁土蔵が並び風趣のある瀬戸川沿い。潤いと安らぎのある空間として親しまれている。



▲ 街なみと調和したまつり広場では、毎年古川まつりが開催されている。



▲ まつり広場に隣接する伝統的建築の飛騨の匠文化館。



▲ 新しい町家と白壁土蔵が調和した瀬戸川沿い。



▲ 手前の新しい町屋と奥の古い町屋がうまく調和している。